

令和7年 丹波市二十歳のつどい式辞

輝かしい新春を迎え、ここに令和7年丹波市二十歳のつどいを挙行するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、丹波市の未来を担う二十歳の若者が一堂に会し、夢や希望を語り、お互いが学び合う場として、この式典が開催できることを大変喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

また、公私ともにご多用の中、二十歳の門出を祝し、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様にも厚くお礼申し上げますとともに、誰よりも大切に見守り、励ましてこられましたご家族、そして教え導いてくださった先生方、関係者の皆様に心から敬意を表します。

丹波市は平成16年に旧6町が合併し、市制施行20周年を迎えることができました。これまで、丹波市の発展にご尽力賜りました多くの皆様にも、深く敬意と感謝を表します。

さて、令和7年度4月から施行される「第3次丹波市総合計画」では、丹波市の10年後の将来像を「まなびときめく丹（まごころ）の里 ～しあわせ輝くみんなの未来へ～」と示しており、市民一人ひとりの「しあわせ」の実感につながるよう、将来像の実現に向けて歩みを進めてまいります。

二十歳の皆様は今をどのように過ごされていますか。仕事、勉強、

スポーツ、趣味等、いろいろなことに熱中され、いろいろな方との出会いをたのしまれているのではないのでしょうか。

皆様は、「ウェルビーイング」という言葉を聞いたことはありますか。令和5年6月16日に閣議決定されました「第4期教育振興基本計画」の中には、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」という考え方が示されています。この「ウェルビーイング」は「well」と「being」に分解され、直訳すると「良い状態、良い在り方」となります。これは、「身体的、精神的、そして社会的に満たされている状態」であり、個人だけではない自分の周りの社会についても良い状態にあることを指します。そのためには、人と人がお互いに認め合い、つながっていくことが重要であり、そのためには人との対話が不可欠です。

今日、送り出してくれた家族、久しぶりに出会う友達や恩師、そして今まで関わってきたすべての人とのつながりを感じながら、これからの未来について話し合ってみてください。相手のことを想い、対話をすることは、新たな学びや気づきがあり、皆様のこれからの人生を豊かに彩ってくれるでしょう。

冒頭、丹波市が市制施行20周年とお話をしました。二十歳の皆さんと丹波市は同級生になります。皆様がいきいきと活躍する姿は、

きっこのまちを元気にします。皆様の若い力で、この丹波市と一緒に盛り上げてくれることを大いに期待しております。

結びにあたり、皆様の輝かしい前途を心から祝福し、今後ますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和7年1月12日

丹波市長 林 時彦